向き合って、学び合って、未来をつくる下永谷

しもながや

横浜市立下永谷小学校　学校だより　2月号

人生の節目

副校長　酒井 敏雄

「令和6年1月1日に発生しました、能登半島地震により被災された皆様、ならびにそのご家族の皆様に心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と、被災地の一日も早い復興を心より願っております。」

今回の地震で、日頃の備えの大切さを身に染みて感じました。再度、各ご家庭でも有事の際の備えの再確認をお願いします。私は地震が起きた時、実家のある福井県に帰省していました。大きな揺れの中、息子たちは普段学校で実施している避難訓練を生かし、自分の身をしっかりと守っていました。学校では、毎月避難訓練を実施しています。訓練の想定は月によって違いますが、いざという時に自分の身を守れるよう、毎月の訓練の大切さを改めて認識しました。有事の際の家族の約束事（外で被災した時の避難場所や避難後の集合場所等）などを改めて話し合うことも良いかと思います。

さて、令和6年がスタートし1か月が経ちます。令和5年度の活動も残すところあと2か月です。1月は「行く」2月は「逃げる」3月は「去る」と表現されるように、この3か月間は早く過ぎるように感じる方も多いでしょう。1月もあっという間に「行って」しまったように感じます。1年間のまとめと次年度に向けての準備、インフルエンザ等の感染症や寒さ対策・・・、やらなければならないことは多いです。このやることの多さも時間が早く過ぎていくと感じることの一つかもしれません。

6年生は小学校時代のまとめと中学校に向けての時期となっています。小学校の卒業は、人生の節目の一つと言えます。以前こういう話を聞いたことがあります。「竹という植物は、地面から真っ直ぐ天に向かって伸びている。強風に吹かれても折れることはない非常に強い植物である。なぜ強いか。それは竹には節があるからだ。」竹には節があることで、真っ直ぐ成長することができ、強風が吹いても簡単には折れません。6年生は小学校を卒業し中学校へと進学していきます。中学卒業後はそれぞれの道を進んでいきます。その後も人生の節目を経験します。その節目を迎えるときに、これまでの振り返りや周りの人への感謝、次に進む場面への準備をしっかりと行うことで、より強い節が自分の中で出来上がり、より良い人生となっていくと信じています。1～5年生も、進級する年度の切り替わりに、この1年間を振り返り次年度に向けての目標を立てるなど、節目を意識してより良い次年度をむかえましょう。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、子どもたちが実りある学校生活を送れるよう、学校の教育活動にご理解ご協力を今後もよろしくお願いします。